

**トゲソの会活動**

**ニュース3号**

6月～11月  
通算90号

2023年12月

NPO法人  
五泉トゲソの会



## ◇「博報賞」功労賞を受賞 「トムソーヤ冒険賞」の支援団体に選出

「博報賞」は、(公財)博報堂教育財団が児童教育現場の活性化と支援を目的としてつくられました。教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「活動と貢献」を顕彰しています。今年で第54回になり、「博報賞」功労賞を今回受賞しました。授賞式は、11月10日(金)に東京駅近くにある日本興業倶楽部会館で行われました。当会が受賞した功労賞は博報賞の次ぐ賞で副賞が50万円です。



▲表彰状の授与

### ◇博報賞:「トゲソと水のESDで市内児童8,000人が笑顔で学ぶ」

今回の応募内容の概要を以下にご紹介いたします。五泉トゲソの会は1997年に設立され、地域に希少淡水魚イバラトヨ、通称トゲソが生息していることから、観察会・保護活動、自然環境の保全、環境教育等を行って来ました。この間、23年間に渡って五泉市内小学校7校で8,000名を超える児童に対し、ESD教育を展開してきました。さらにトゲソの生態や保護についての学習も行い、県内の中学生以上を含めた市民を合わせると、対象者は1万人以上にもなります。支援回数は450回、支援スタッフ数は1,100名にのぼっています。この活動と成果について功績を申請したものです。

### ◇2023年度トム・ソーヤスクール企画コンテスト

#### オスが子育てする絶滅危惧種トゲソを学校ビオトープで保護に挑戦 「Forever Love Togosoj」

今回は校内にビオトープを持つ五泉南小学校と五泉川東小学校2校とトゲソの会の協働で申請しました。トゲソの生態や絶滅しそうな理由を学び、地元の川で採集したトゲソをビオトープで飼育、観察しました。そして、トゲソを通して、自然環境と生物多様性に関するESD(持続可能な開発のための教育)を行いました。10月中旬に活動の報告書を出し、コンテスト活動支援団体として50団体の中に入り、チキンラーメンと10万円の活動費をいただきました。



▲五泉南小学校の  
ビオトープ学習

## 1、ESD 学習、総合学校支援は7校で 27 回を行う。(6月～9月)

### 2023年度の総合支援実施回数

学校名	学習した日	回数
愛宕小学校	6/13/ 6/21 6/27 7/4	4回
五泉小学校	6/5 6/13 6/26 2回終了	4回
川東小学校	6/2 6/16 7/5 8/25 9/1	5回
東小学校	6/6 6/27 終了	2回
村松小学校	6/8 6/15 6/22 9/7 9/14	5回
南小学校	6/1 6/22 6/28② 9/12	5回
大蒲原小学校	6/29・7/6 終了	2回
計(7校)	6月1日～9月14日	27回

2023 年のトゲソの会の総合学習支援は、昨年同様の 27 回を行いました。

学習内容は、トゲソの生態を知る、トゲソの生息地を見に行く、水の循環と汚れを科学的に測る、水の浄化実験をおこなう、を基本としています。

また、ビオトープのある南小と川東小はトムソーヤ冒険企画コンテストの対象として活動しました。

これらの総合学習は SDGs15. 5「陸の豊かも守ろう」に該当し、自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損

失を阻止し、絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる活動として実践しています。

今年は、村松小・滝谷川の水生昆虫による川の汚れ調査では、五泉市役所の職員 2 人がサポートで参加してくれました。初めての参加支援で感謝申し上げます。

心配の点としては、南小学校の「みなみの泉」のトゲソの個体数が 30 個体だったことです。2021 年の 71 個体、昨年の 38 個体から比べる。2 年続けて減少しました。今後の維持について再検討が必要な結果となりました。



▲村松小学校 トゲソの里訪問 (6/2)

## 2、環境月間 - 日本CMKさんから 18,058 円の募金いただく

6月は環境月間であり、日本 CMK(株) 聖籠工場では、本会の協力団体の商品を購入すると、売り上げの一部がトゲソの会への募金になる取組みを行っております。このような活動は5年目となり、2023 年は6月 12 日に行いました。

今年は、例年参加していただいているサンファーム泉さんの「アロニア」と、お菓子の販売をしている「いち華」さんが新たにご協力いただきました。「いち華」さんのわらび餅も大人気で完売いたしました。

この取組みによって、18,058 円の募金をいただきました。社員の皆さんお買い上げありがとうございました。



▲いち華さんのお菓子の販売

### 3、猿和田生息地の江ざらい、楽しく親子お魚調べも実施(7月9日)



7月9日(日)に生息水路の環境保全活動を今年も行いました。里山・里地を守るには、人の手を入れるなど生息水路の適度な整備が必要です。作業は、草刈りや泥上げで、下越郵便局長会さん、(株)CMK、新津高校、日本自然環境専門学校、新潟大学の皆さんのご協力で行いました。今年は晴天に恵まれて作業的には助かりました。

当日は、親子で魚とりを行い、生きもの調査を行う「子ども生きモニ」も行いました。この活動は内田科学エネルギー振興財団の助成を受けて実施しました。

短時間の調査でしたが、トゲソをはじめ、水生昆虫やトンボのヤゴ、貝類など数多くの種類が確認でき、講師の高橋泉先生が子どもたちにメダカやドジョウなどの特徴や生態を丁寧に教えてくださいました。近年、多様な生きものが生息する土水路がなくなりつつあります。トゲソとその他生き物を守るため、引き続き、当会の活動にご支援・ご協力をお願いいたします。

(FBにも掲載しています)



▲高橋先生の説明

### 4、夏休み「冒険塾」を実施する(7月22日、29日)

7月末に「夏休み冒険塾」を2回開催しました。冒険塾は小学生低・中学年を対象に夏休みの外泊と川遊びをセットにした事業です。1回目は7月22日(土)から23日(日)で10人、2回目は7月29日(土)から30日(日)に行い、9人が参加してくれました。

宿泊は、五泉市別所の「五ろり」です。1日目は自己紹介のゲーム、川遊び、夕食のカレーライスづくり、温泉でお風呂入りなどをしました。2日目は、笛づくり、棒パンづくりなどを楽しみました。1回目、2回目ともに太川橋の下で川流れ、カジカ捕り、夕飯づくりなどができ十分楽しめました。参加してくれた子ども達は、きっと新しい友達や冒険が出来たのではないのでしょうか。



▲冒険塾/早出川川遊び/竹で笛づくり

## 5、早出川「夏休み親子魚探検隊 2023」を実施(8月6日)

早出川親子お魚探検隊を8月6日(日)に開催しました。今年は梅雨明けから猛暑が続き、当日も暑さ溢れる日となりました。それでも川の中は涼しく、子どもたちはお魚とりに夢中になっていました。

川のいろいろな場所で魚とりをすると、多種多様な生ものがあることがわかります。生物多様性保全ネットワーク新潟の井上さんや高橋さん、マリピア日本海の方々による解説に子どもたちは目を輝かせていました。



▲捕れた生きものの解説

## 6、生涯学習フェスに参加。魚釣りゲームなどを実施(9月3日)



▲水槽でのお魚釣り

9月3日(日)に五泉市生涯学習フェスティバルが開催され、当会も参加しました。今年の会場は五泉市総合会館の中ホールとなりました。人出はコロナの沈静により、久しぶりに多くありました。生涯フェスタは2002年の10月に第1回大会が開催されています。途中でコロナウィルスの流行があり、1回休みました。従って今年で21回目となる開催でした。

トゲソの会では、人出不足のためトゲソの水槽展示、お魚釣りゲームなどにとどまりましたが、ステージの団体では元気な子ども達の発表などもあり、楽しく過ごせました。

## 7、日本シイエムケイ(株)さんから寄付金をいただく(10月8日)



五泉市村松地区の工場団地にある日本シイエムケイ(株)蒲原工場さんから、このたび「寄付金」(9万5千円)をいただきました。日本CMK(株)さんは一部上場で自動車関連の様々な部品の基盤を造っている会社です。

トゲソの生息水路の江浚いや生息個体数調査への協力だけではなく、毎年、会社の「環境月間」の取組みでトゲソの会と協働で寄付をいただいています。日頃より多大なご支援・ご協力をいただいているにもかかわらず、たくさんの寄付を今回いただきました。大変嬉しい応援です。寄付金はトゲソの活動に使わせていただきます。ありがとうございました。

- 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 中村吉則  
所在地 〒959-1643 五泉市土堀295番地 メール naturegosen@gmail.com  
事務局 〒950-2003 新潟市西区東青山1丁目11-12 樋口正仁  
電話 & FAX : 025-267-1820
- ホームページ <https://togeso.web.fc2.com>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/togeso>